

美々津中学校通信

5月号

R6. 5. 1

発行者校長



美々津中HPへ

慣れてきた学校生活 ここからが勝負

四月八日(月)から始まった令和六年度ですが、約一カ月が過ぎようとしています。だんだんと新学年になれてきています。見受けず。緊張感のあった最初に比べ、慣れてくると要領を覚え、少し手抜きをしたり、雑になったりすることがあります。誰しもこのような経験はあるのではないのでしょうか。実は、ここからが大事でこれから先の自分の方向性を決めることにもつながります。

学習面では、本格的に授業がスタートし、新しく習った学習内容をその日のうちに復習し、「わからない」という内容を放置しないことが大切です。毎日の予習・復習に力を注いでください。

部活動では、地区総体まで残り約一カ月となりました。三年生においては、最後の舞台となります。この五月に最後の追い込みをする必要があります。一日たりとも無駄にできません。大会までの時間を有効に使うためにも計画的・継続的に取り組んで行きましょう。

そして、生活面です。慣れてくるところから、トラブルも起こりがちです。仲良くなってきたからと



いい、何をしても、何を言ってもいいということはありません。

この人には、言えないけど、この人なら言っているなどという事はないのです。言っているだけのこととは、誰に言ってもいいけません。「親しき仲にも礼儀あり」と言われるように、仲間を尊重(リスペクト)してつきあっていくことが大切です。

また、登下校時の自転車や歩行における交通マナーも大事です。慣れてきた時に事故は起こりやすくなります。毎日通る道でよく分かっていくかもしれませんが、「よく分かっていても」といわれるかもしれませんが、その事故を引き起こす原因にもなり得ます。自分は、同じ道を通っているかもしれないませんが、そこを往來する自転車・自動車・歩行者はその時その時で違います。油断をしているといつもと違う状況が発生するかもしれないです。ですから、毎日緊張感をもって、念には念を入れて、安全確認をし、交通ルールを守ってください。

慣れてきた今、もう一度自分の日常の生活を見つめ直し、再度大切な事を確認しましょう。



第七八回入学式

四月十一日(木)、美々津中学校第七十八回入学式が行われました。

新入生二十二人は、瞳を輝かせ希望と不安をいっばいにして入学式に臨んでいました。式では、西村 賢市長をはじめ、三十三名の来賓をお迎えし、厳粛な中にも心温まる雰囲気で行われました。私には、式辞の中で、「夢に向かって努力し続けて欲しい」、「人とのつながりを大事にして欲しい」の二点を中心に話しました。在校生を代表して生徒会副会長の安藤愛来さんは、中学校での教科担任制や部活動、生徒会活動など中学校ならではの特色を話し、困ったら先輩たちいつでも相談してくださいと歓迎の言葉を述べてくれました。それに対し、橋口大翔さんは新入生を代表して、中学校での生活を楽しくに精一杯がんばっていききたいと誓いの言葉を述べました。

最後に新入生の保護者を代表して、荻原 進二様が新入生への期待と学校へのお願い等を時折ユーモアを交えながら話されました。子どもたちへの温かい愛情と熱意のこもったすばらしいあいさつをいただきました。



4/8 新任式

令和六年度の第一学期新任式始業式が行われました。

新任式では、八名の先生方が新しく赴任され、それぞれ紹介をされました。紹介後に生徒会長の黒木俐仁さんが、小規模の学校ですが、みんな仲が良く、行事ではすばらしい団結力を発揮します。わからないことがあれば何でも私たちに聞いてください。と、歓迎の言葉を述べました。

新しい顔ぶれの中、生徒・教師が一体となって学校を創り上げていけるようがんばっていきたいです。

【新任の先生方】

- ・ 平野 公一 教頭 (理科)
- ・ 松田 忠典 教諭 (数・理)
- ・ 佐藤 愛花 養護教諭
- ・ 猪股 玲子 講師 (国語)
- ・ 木下 慎之介 講師 (社会)
- ・ 前田 栄一 非常勤講師 (理科)
- ・ 寺原 有香 非常勤講師 (音楽)
- ・ 山之内 美紀 非常勤講師 (家庭)



4 / 16 避難訓練

四月十六日(火)四校時、本年度初めての避難訓練が行われました。海抜4.5mに位置する本校にとっては、大変切実な問題であり、年度はじめに津波想定避難訓練をすることはとても重要な訓練として毎年この時期に計画しています。

六年前に、地元の藤屋印刷(安藤公一氏)様から、ライフジャケットを寄贈していただき、本校ではこのライフジャケットを着て訓練をすることが定番となっていました。

学校の正門を左に出るとすぐに踏切があります。そこを横断し、10号線に出る手を左折するとワープするように10号線に出ます。昨年度からここをセーフティゾーンとし、本校ではここを目標にまずは全力で避難します。そこから10号線の坂道を約200m登り、第一次避難場所と位置付けているところまでいきます。

入学した新一年生も先輩たちの姿を目の当たりにし、必死に訓練に参加していました。このような先輩の姿を見て学ぶという光景がこの美々津中学校では伝統的に受け継がれていきます。この伝統を今後も守っていききたいと思えます。

海抜約35mある第一次避難場所まで全員が到達した後、学校に帰り訓練の評価についての講話がありました。防災士の黒木茂紀さんから、訓練そのものは全員真剣な姿が見られすばらしいとお褒めの言葉いただきました。講話の中で、訓練は、野球に例えると「素振り」と同じ、本番はない方がいいが、もしもその時にその「素振り」が必ず生きてくるから真剣に「素振り」をしてほしいとの話があり、とても印象深いお話でした。



4 / 25 地域座談会

四月二十五日(木)、美中校区小中一貫校に向けての地域座談会を始めました。

参加者は次の五名です。

- 寺町晃氏(南部区長会会長)
- 橋口洋子氏(地域CO)
- 小野原康人氏(美小校長)
- 荒神雅彦氏(寺迫小校長)
- 山之口雅彦(美々津中学校長)

目的は、日向市の構想として三つの小中学校を小中一貫校として、今後移転を含めて検討することが市議会を通じて明らかとなったことから、今準備できることを関係者で話し合っておくことになったものです。そもそも小中一貫校になるねらいとして、児童生徒・教職員・地域住民が一体となった地域づくりを推進していくことがあげられます。会では、美々津小と幸脇小が統合された時の経緯や地域住民の美中校区一貫校への期待など様々な角度から意見が交わされました。今後、月一回の定例会として継続して会合をもつことになりました。



行事予定

- 5月 1日(水) 生徒総会に向けた討議
- 5月 2日(木) 心電図検査(1年)
第1回参観日・学級懇談
PTA総会・体文総会
- 5月 3日(金) 祝・憲法記念日
- 5月 4日(土) 祝・みどりの日
- 5月 5日(日) 祝・こどもの日
- 5月 6日(月) 振替休日
- 5月 7日(火) 校内実力プレテスト
(→3年5/8まで)
- 5月 8日(水) 生徒総会に向けた討議
- 5月 9日(木) アルバム写真撮影(3年)
- 5月10日(金) 街並みスケッチ大会
- 5月13日(月) ~17日(金) 教育相談
- 5月16日(木) 耳鼻科健診(1年)
- 5月21日(火) 尿検査(1次)
- 5月24日(金) AED講習会・英検

- 5月27日(月) 生徒総会
- 5月30日(木) 内科検診
- 6月31日(金) 美々津スタイル学習会

部活動計画

- ◆軟式野球部
 - 5月 4日(土) 練習試合(対木城中 美々津G)
 - 5月11日(土)~12日(日) 県選抜大会
 - 5月26日(日) 練習試合(対都農中 都農G)
- ◆女子バレー部
 - 5月 3日(金) 県北大会(場所:土々呂中)
 - 5月 4日(土) 県北大会(場所:延岡アリーナ)
 - 5月 5日(日) 練習試合(本郷・志和地・山田 美中体)
- ◆女子ソフトテニス部
 - 5月 3日(金) 県北大会(西階運動公園)
 - 5月26日(日) 練習試合(高鍋東中 高鍋スポーツC)
- ◆卓球部
 - 5月18日(土)・25日(土) 練習試合(未定)